



ŌMIYA NEWS



No.106

2024年1月14日

JR東労組大宮地本

2024 大宮地本旗開き 新春の集いを開催!!



1月13日、さいたま市文化センターにおいて「2024旗開き」「2024新春の集い」を開催しました。

旗開きでは、本部田崎中央執行委員による特別講演と、やじんき法律事務所の渡辺弁護士による宇都宮運輸区で発生した人間破壊に対する労災申請のたたかいの報告を受けました。また、新春の集いにはご来賓として連帯する多くの議員や市民団体の方々にもご参加頂き、懇親を通じ連帯の輪を拡げる事が出来ました。

主催者あいさつでは、①年頭より大地震や大事故が発生し国際情勢が不安定な中で戦争も止まらない等、今年は「命」が問われる年であり、労働組合として命を守るため安全の観点で会社に提言し求めていく ②会社の組織再編により大宮地本管内の体制も大きく変わる年。組織強化に向けて一人ひとりの飛躍が必要 ③宇都宮運輸区のパワハラ労災申請のたたかいを自分のものとし、不当労働行為や会社の不誠実な姿勢を許さず危機感を共有し、たたかう ④会社が「柔軟な働き方」を進める中で、職場の意見を基に安全風土を再確立し、提言を創りだす ⑤賃金を低く抑える流れに騙されず、24春闘を共にたたかっていくこと等を提起しました。

決意表明では6名の仲間から、この間のたたかいをさらに推し進め、運動の飛躍を通じ組織強化・拡大に結実させ、24春闘を職場からたたかい抜く決意が力強く語られました。

そして基調報告では、①原因究明の議論から真の安全対策を打ち出せる組織づくりを行う ②申11号交渉を通じ不当労働行為・脱退策動を無くすたたかいを推し進める ③24春闘第1ゾーンのたたかいを支部・分会旗開きの開催を通じ進めていく ④本部定期中央委員会以降、第2ゾーンのたたかいとして総対話等を展開し、3月5日の地本春闘総決起集いに結集していく ⑤3月の山場に向けてバス関東本部やJESS協議会と共に統一闘争を進めること等が提起され、参加者全員で春のたたかいのスタートを切る旗開きとなりました。

**24春闘・施策提言・安全議論を通じ、東労組の存在意義を示し組織強化・拡大を勝ち取ろう！
私たちと想いを共にする仲間と連帯し、平和で安心して生活できる社会を創りだそう！**